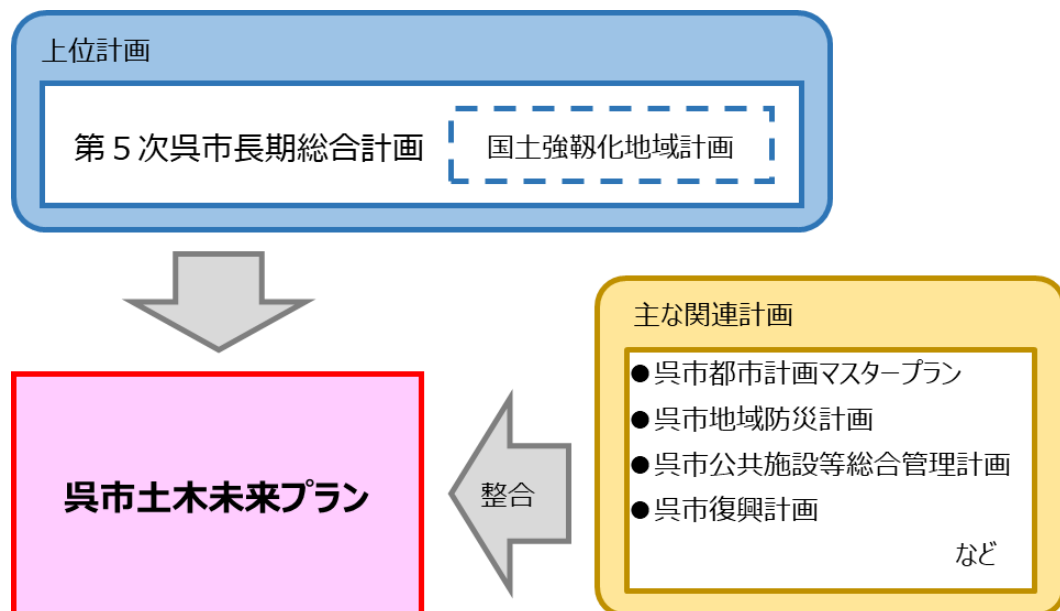


1 土木未来プラン策定の趣旨

- 「呉市土木未来プラン」は、「第5次呉市長期総合計画」が目指す将来像を実現するための政策を着実に推進し、また、「国土強^{じん}靱化地域計画」に基づく強靱化対策を計画的に推進するため、社会資本のうち道路、河川等に係るマネジメントの基本方針を定めるとともに、当該基本方針に基づき、効率的・効果的に社会資本の整備を推進するための実施計画として策定したものです。
- 「ときめき」という言葉には、「時流に乗り栄える」、「期待で胸が高まる」といった意味があります。国土強靱化や地方創生など、時代の変化に対応し、新たな課題を乗り越え、世代を超えて恩恵を受けることのできるまちづくりを進めるため、「土木の未来の計画」であるこの計画の愛称を「ときめきプラン」としました。

【計画の位置付け】



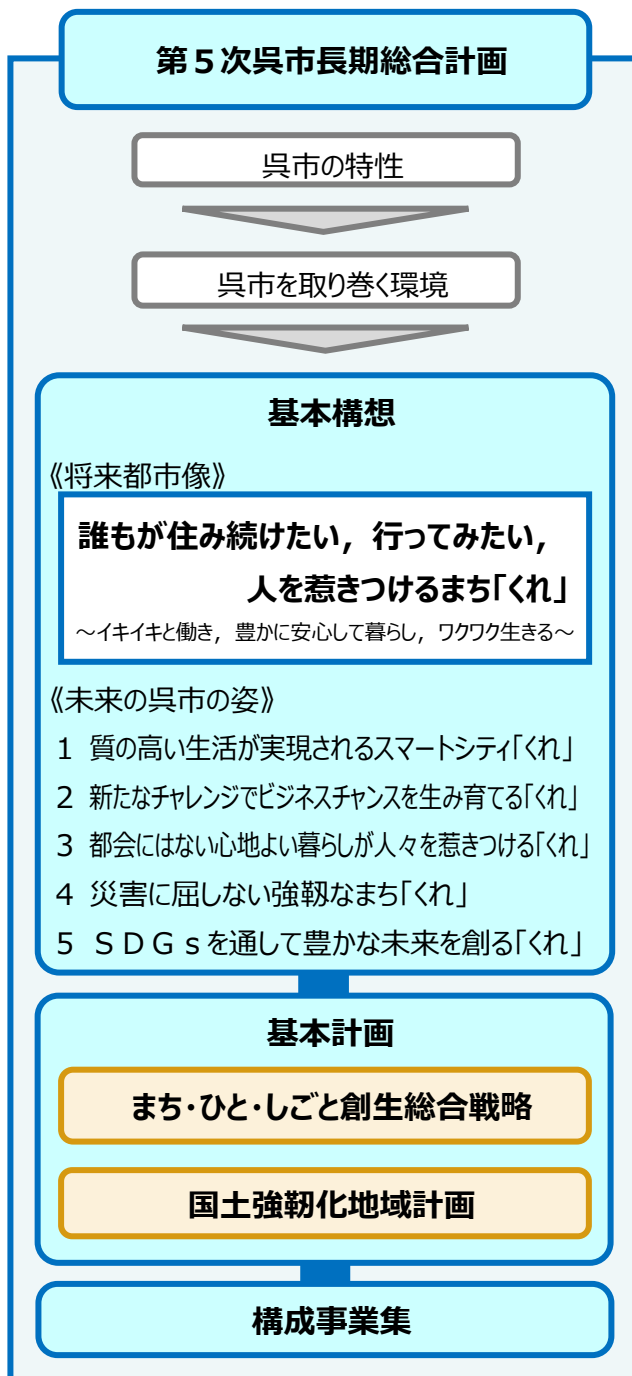
2 土木未来プランの期間

計画期間は、「第5次呉市長期総合計画」の計画期間にあわせ、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

また、戦略的な投資とマネジメントの最適化を図るため、10年間の施策の基本方針と、前期・後期（各5年間）の実施計画で構成します。

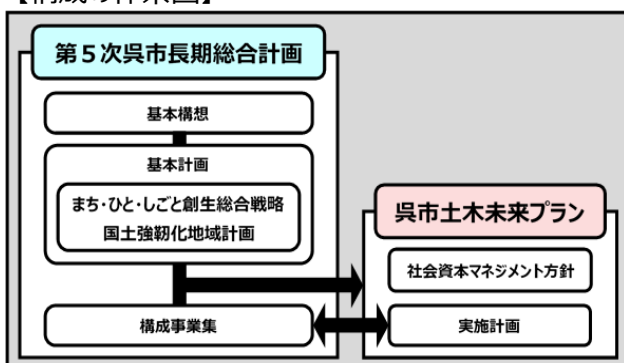
構成	R3年度 (2021)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度 (2030)
基本方針	10年間									
実施計画	前期(5年間)					後期(5年間)				

3 土木未来プランの概要



- 将来都市像を実現するために
今後の土木行政に求められること**
- 地域経済と安全で豊かな暮らしを支え続けるための社会資本の戦略的な維持管理の推進
 - ストック効果・速効性を重視した計画的な社会資本整備の推進
 - 災害に屈しない国土づくりのための防災・減災, 国土強靱化の推進
 - 気候変動による水災害のリスクに備え, あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進
 - 社会経済活動を支え, 国土強靱化のための高速道路ネットワークの充実・強化
 - 交流人口の拡大や観光客の移動円滑化等に資する環境整備
 - 社会資本の整備・利活用を通じた観光振興
 - 安全で魅力あふれる都市構造を構築するコンパクト・プラス・ネットワークの推進
 - 持続可能で魅力あふれる社会環境を形成するためのグリーンインフラの推進
 - 新・担い手3法を踏まえた建設業の担い手の育成・確保
 - 生産性向上と労働力不足の解消等に向けたインフラDXの推進
 - 地方創生を加速し, 防災拠点となる道の駅の整備
 - 民間の資金・ノウハウを活用した多様なPPP/PFIの推進
- など

【構成の体系図】



呉市土木未来プラン

社会資本マネジメント方針（令和3年度から令和12年度までの10年間）

社会資本を適切にマネジメントしていくための三つの基本方針

①社会資本の適正な維持管理

インフラ施設の老朽化対策	■ メンテナンスサイクルの構築 ■ 事後保全から予防保全への転換
迅速かつ効率的・効果的な維持管理	■ 日常的なパトロールによる施設の状況把握 ■ 市民ニーズに応じた迅速・適切な維持管理

②社会資本ストックの有効活用

既存ストックの機能改善	■ 道路の安全性・信頼性の向上に向けた取組 ■ 市民ニーズに応じた施設の再生・刷新
既存ストックの多目的利用	■ 公共空間を活用したにぎわいの創出 ■ 社会資本の整備・利活用を通じた観光振興
ハードと一体となったソフト対策	■ 防災意識社会を構築するためのソフト対策 ■ 地域と一体となった交通安全対策

③社会資本整備の重点化

激化する異常気象と自然災害に対する 防災・減災、強靱化対策	■ 流域全体・総力戦で挑む治水対策 ■ 命と暮らしを守る土砂災害対策
災害に強い道路ネットワークの構築	■ 道路ネットワークの多重性・代替性の強化 ■ 重要物流道路・緊急輸送道路等における橋りょうの耐震補強
物流の効率化による生産性の向上	■ 生産性を大きく向上する高速道路ネットワークの機能強化 ■ 安全で円滑な物流を確保するための幹線道路ネットワークの整備
交流人口の拡大、観光周遊の更なる 活性化	■ 広域的な交流を支える高速道路ネットワークの機能強化 ■ 観光資源をつなぐ道路ネットワークの整備
持続可能なまちづくり	■ 地域産業・地域づくりを支える道路ネットワークの整備 ■ コンパクトで全ての人にやさしく、ゆとりとにぎわいのあるまちづくり
環境保全と循環型社会の構築	■ 環境に配慮したインフラ施設の省エネルギー化 ■ 自然と共生するグリーンインフラ

三つの基本方針を効果的に進めるための施策

公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保

インフラDXの活用

多様な主体との連携

施策の点検と事業の見える化

実施計画

（前期・後期の各5年間）

対象施設：道路、河川、砂防、急傾斜、公園

前期5年間の投資予定額

概ね200億円